

編集後記

■編集委員 (50 音順)

出 月 康 夫
白 日 高 歩

北 島 政 樹
堤 治

北 野 正 剛
万 代 恭 嗣

小 西 文 雄
東 原 英 二

今年の夏は雨ばかりの冷夏で、蟬の鳴き声もかすかな毎日であった。それでも8月後半に入ると思い出したように暑さのぶり返しがやってきた。私の所属する大学病院は今、例の日本機能評価機構の審査の真っ最中であり、この数か月はそれに向けての準備に追われ通してであった。準備をしながら気づいたことは、今さらに、われわれの病院への認識を一変させなければならないという事実であった。言い古された言葉であるが、これまでの病气中心の医療から、病気の主体者(担病者)である患者にとっての医療、すなわち患者中心の医療への転換が大きく迫られているということの事実である。今日までのわが国の医療が医師中心の医療であったとは決して思わない。しかし、患者の意思、希望、社会的状況など色々の因子を無視して病气のみを科学的に捉える医療が医師の取るべき態度として定着していたことは否めない。もちろん、医師が科学的事実を無視して素人と変わらぬようなレベルで患者と一喜一憂するのは患者中心の医療といえず、むしろ墮落とみなすべきであろう。大切なことは、すべての医学的データを患者側に提示して、そのうえで患者の意思が尊重される治療法を選び、いったん治療に入ったら患者と医師の緊密な協力関係で病気に立ち向かうという姿勢の維持であろう。この際に強調しておきたいのは、患者中心の医療とはいっても患者の主張が100%正しく、100%認められて当然ということなのではない。病気の治療にあたっては患者も応分の義務を負うべきであり、患者の権利のみを主張して医療を不信の目で捉えようとする態度は許されるべきものではない。

日本の医療の立ち遅れがしきりに指摘されるが、それは事実でない。米国の医療は確かに患者の利益を中心とした非常に具体的なものであるが、何はさておいても個人個人の意思や権利が強く尊重されるという国民性の違いが大いに加わっているものである。しかし、ある意味で非常にドライであり、医師・患者間の契約が壊れるとすぐに訴訟というのっぴきならない状態に発展する。日本人は欧米人以上に情緒的であり、この情緒面も壊さず、しかも欧米社会のような患者の意思が尊重される医療を展開しろというマスコミの要求は、大変難しい要求である。医療に関する高度な契約を構築しつつ、赤髭医者としての認識も持つという要求はきわめてアンバランスである。しかし、国民の声の代弁者として彼らがそれを主張する以上、われわれもこの二面性の維持に努力せざるを得ないであろう。

日本の医療は進歩がめざましく、倫理面での医師の態度もかつてとは比べものにならないほど厳しく、しかも評価されるものとなっている。今日、マスコミから不信、不信と指摘されるほどの低医療レベルとは決して思わない。しかし、医療のターゲットが医学的事実の解明ではなく、むしろ患者そのものであることへの呼びかけにはすべての医師が心して耳を傾け、その意味を理解することが必要と思う。

(白日高歩)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第8巻 第5号) 2003年10月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1部定価(本体2,700円+税)となります。

2003年 年ぎめ予約購読料: 16,500円(配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会(代表: 出月康夫)

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 (財)日本学会事務センター内

(☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8622, Japan

©2003, Printed in Japan

発 売: (株)医学書院(代表: 金原 優)(本誌担当: 田村, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。